

令和4年度
文化振興課所管事業

背景・事業概要

- 群馬交響楽団は、1945(昭和20)年に誕生した地方オーケストラの草分けであり、定期演奏会や移動音楽教室などの公演を通じ、県民のオーケストラとして地域に根付いた活動を継続しています。
- また、東京公演や県外公演を通じて、本県のイメージアップも担ってきました。
- 令和3年度は群馬県と高崎市が共同で「群響改革プラン」を発表し、楽団の更なるレベルアップと安定的・継続的な楽団運営を目指して様々な取組を進めてゆくことを発表しました。
- 県は、群馬交響楽団に対して、運営費及び上記群響改革プランの取組をはじめとする各種事業に対する補助を行い、楽団の活動を支援します。

具体的な取り組み

【予算額286,605千円】

1 運営費等に対する支援

運営及び経営安定化のための補助金

- ①運営費補助 (170,355千円)
- ②レベルアップ支援 (10,000千円)
- ③退職金積立 (17,300千円) 等

3 群響改革プランの推進に係る支援

- 海外演奏家の起用 (12,000千円)
- 有料ネット配信実施 (2,500千円)
- アンサンブル演奏会開催 (1,600千円)
- 県外商業施設演奏会開催 (500千円)

2 移動音楽教室等に対する支援

幼児から高校生までを対象に、本物の音楽に触れる演奏会等を実施

- ①幼児移動音楽教室 (4,250千円)
- ②移動音楽教室 (39,245千円)
- ③高校音楽教室 (18,477千円)
- ④楽器セミナー (3,960千円)



高崎芸術劇場での公演



幼児移動音楽教室



群響アンサンブルシリーズ(室内楽演奏会)

群響改革プランの概要

目標

日本一の地方オーケストラを目指す！

- ・群馬県民の誇りとなる楽団へ！
- ・他県のファンからも地方オーケストラと言えば「群響！」と呼ばれる楽団へ！

<成果指標>

人口100万人あたりの演奏会入場者数

No.1

※オーケストラ連盟の正会員25団体中

- ・平成30年度時点での順位は3位

計画期間

令和3年度から令和7年度の5カ年

- ・「楽団の更なるレベルアップ」と「安定的・継続的な楽団運営」に向けた取組を実施。
- ・5カ年の取組で基盤を固め、計画後の5カ年のうちに成果指標を達成する。

計画期間（R3～R7）の取組内容

取組1

楽団の更なる レベルアップ

◎指揮者体制の確立

- ・優秀な指揮者の招聘

◎外部人材の導入

- ・実力ある国内外の演奏家の獲得

体制づくりと演奏環境の向上

◎楽員の研鑽機会確保

- ・高校音楽教室等の実施方法見直し

◎楽員の モチベーション向上

- ・県外公演の拡充
- ・海外公演の実施を目指す

取組2

安定的・継続的な 楽団運営

◎新たな魅力の 創出・発信

- ・様々なジャンルのアーティストとの共演
- ・ファンサイト開設等

◎ニューノーマルに おける新たな取組

- ・有料ネット配信
- ・アンサンブル演奏会等

未来に向けた運営基盤の強化

◎民間支援の拡大

- ・企業支援メニューの拡充
- ・「群響特使」任命

◎子どもたちの 鑑賞機会提供

- ・移動音楽教室の継続

群響改革プランスケジュール

成果目標 達成に向けた取組	令和3年度 (2021年度) ＜1年目＞	令和4年度 (2022年度) ＜2年目＞	令和5年度 (2023年度) ＜3年目＞	令和6年度 (2024年度) ＜4年目＞	令和7年度 (2025年度) ＜5年目＞	令和8年度～ 令和12年度
楽団の更なるレベルアップ ①指揮者体制の確立 ②外部人材の導入 ③研鑽機会確保 ④モチベーション向上	小林ミュージック アドバイザー R3年度末に退任予定		音楽監督	指揮者 2人体制の確立	指揮者 3人体制 海外演奏家 の獲得 楽員の演奏 技術向上	多くのファンに質の高い音楽を提供
	海外演奏家に関する調査検討	海外演奏家 スポットでの起用 R4後半2～3回	海外演奏家(1名) 年間契約			
	高校音楽教室等の見直し	依頼公演数の増				
	県外商業施設演奏会					
安定的・継続的な楽団運営 ①新たな魅力の 創出・発信 ②ニューノーマルに おける新たな取組 ③民間支援の拡大 ④子どもたちの鑑賞 機会提供	様々なジャンル・ アーティストとの共演 コンテンツの検討等 アンサンブル演奏会	高崎芸術劇場新企画演奏会 群響スペシャルコンサート ファンサイト開設	継続して国の資金を活用		魅力の向上 ニューノーマル 対応 民間支援の 充実 ファンの裾野 拡大	日本の地方オーケストラへ！
		有料ネット配信	内容の充実			
		「群響特使」任命 企業支援の調査・検討	企業支援メニューの 拡充			
	移動音教の継続					

○安定的楽団運営体制の改革(経営面)

- ・レベルアップへの取組や努力を適正に評価できる制度の導入を目指して、ユニオンと交渉し合意を得る。
- ・新しい指揮者と改革の方向性を共有し、レベルアップに向けて共に課題を解決していく。

背景・事業概要

○アート力で群馬を元気にし、心豊かな生活によって、県民が誇りと幸福感が持てる群馬県を創造するため、総合的なアートによる地域振興「アーティストティックGUNMA」を、次の3本柱により推進します。

<3本柱>

①アーティスト支援 ②地域振興・経済効果 ③アート教育・体験 の好循環を実現する事業を実施します。

具体的な取り組み

【予算額10,112千円】

◆AIRアートプロジェクト

県内アーティスト・イン・レジデンス(AIR)での滞在・創作活動を支援し、若手アーティスト支援、地域活性化、ワークショップを通じたアート教育体験機会を提供

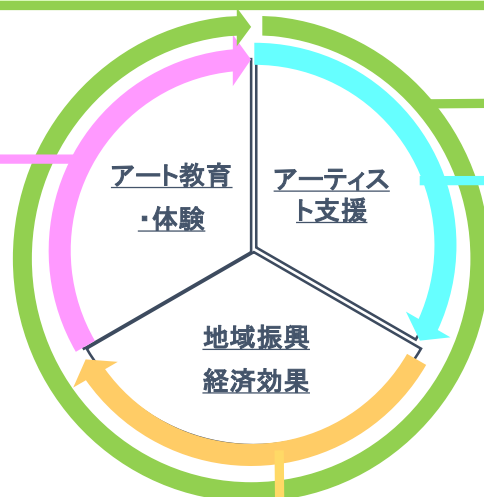


◆美術館等と連携したアート教育

県立美術館等の企画展と連動する
ワークショップを実施

◆アーティスト・イン・レジデンス (AIR)推進会議

・県内AIRの情報交換の場設置、経済団体・観光団体等との連携



◆アート制作動画作成

・AIRアートプロジェクトにおけるアーティストの制作風景・ワークショップの様子を撮影し、動画を配信

◆Art×Biz (アートバイbiz)

・若手アーティストの作品を募集し、官民共創スペースNETSUGENで展示

背景・事業概要

- 群馬県民の記憶に深く刻まれた「上毛かるた」を活用し、郷土の素晴らしさを見つめ直し、郷土ぐんまへの誇りと愛着を醸成するとともに、県外へも本県の文化的魅力を紹介します。
- 具体的には、上毛かるたを活用しながら本県の魅力を県内外へ発信するために、上毛かるたの発行及び関連書籍（副読本・ガイドマップ）の有償頒布や、歴史ある「上毛かるた」競技県大会の継続などを行います。

具体的な取り組み

【予算額16,963千円】

1 上毛かるたの発行・頒布(予算額10,717千円)

上毛かるたに込められた思いを引き継ぎ、上毛かるたを通じて歴史と先人たちの思いを広く県民に知ってもらえるよう努めます。
令和4年度は、上毛かるた18,000部を発行し、県内外の書店等に配本します。

2 副読本『「上毛かるた」で見つける群馬のすがた』関連書籍電子ブック化(予算額653千円)

上毛かるたの札に描かれたことがらを分かりやすく解説するとともに、制作された当時の状況や現在の姿等を紹介する副読本を電子ブック化し、小学校で導入された一人一台パソコンで見られるようにするとともに、頒布も継続します。

3 「上毛かるた」ゆかりの地文化めぐり頒布(予算額688千円)

上毛かるたで取り上げられている地域へのアクセス方法を紹介し、ぐんまの文化紹介と観光PRを同時に行うガイドマップを頒布します。

4 「上毛かるた」競技県大会の開催(予算額500千円)

県・県教育委員会・子ども会育成連合会が主催する「上毛かるた」競技県大会を開催します。

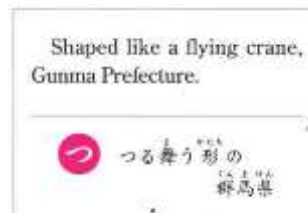
5 英語版上毛かるた頒布(予算額4,405千円)

小中学校での英語教育での活用や外国人観光客へのPRを目的に、英語版上毛かるたを頒布します。

上毛かるた



英語版上毛かるた



ガイドマップ



副読本

4 埴輪王国ぐんま発信、文化観光推進

背景・事業概要

○古墳や埴輪などの「すごさ」や「ストーリー」をわかりやすく発信

次代を担う子供たちをはじめ、県民が本県の貴重な歴史文化遺産の価値を再認識してもらうことで、郷土への誇りと愛着を育むとともに、東国文化の認知度の向上を図ります。また、ユネスコ「世界の記憶」の上野三碑をはじめ、本県の歴史文化遺産の価値や魅力を県内外に発信することで、本県のイメージアップと観光誘客をさらに進めます。

○歴史博物館を拠点とした周遊観光促進

文化観光推進法に基づき、国の認定を受けた事業計画に基づき、歴史博物館の展示充実や博物館を拠点に周辺の温泉地などと結びつけた周遊観光を促進します。

具体的な取り組み

【予算額 121,421千円】

● 埴輪王国ぐんま周知

【予算額 8,403千円】

◆ 埴輪王国ぐんま紹介動画発信 (316千円)

東日本最大の古墳大国、日本一の埴輪県群馬を全国・世界に発信していくため、県庁32階の動画スタジオ「tsulunos」を活用して、動画の配信を行う。



◆ 榛名山噴火関連遺跡価値発信 (977千円)

日本のポンペイ「黒井峯遺跡」や金井東裏遺跡などの榛名山噴火関連遺跡の世界的な価値を発信するための研究会を発足



◆ 東国文化副読本の活用推進等 (4,610千円)

- ・中学1年生副読本として東国文化副読本デジタル版を配布
- ・新規採用教職員研修等での活用、教師用マニュアル書の配布
- ・モデル授業の実施・夏休み自由研究の募集
- ・一般販売ほか



◆ 上野三碑周知 (2,500千円)

- ・「世界の記憶」登録5周年記念国際シンポジウムの開催
- ・群馬県、高崎市、関係団体で構成する「上野三碑普及推進会議」により、上野三碑についての普及活動を推進



● 文化観光推進

【予算額 112,500千円】

◆ 榛名山噴火関連遺跡展示室整備

- ・VR映像コンテンツ制作など展示室整備
- ・榛名山噴火関連遺跡シンポジウム開催



◆ 埴輪の3Dアーカイブ化

- ・県外施設所蔵の県内出土埴輪の3Dデータを取得



◆ 常設展示のデジタル化

- ・VR等のCG技術を駆使したデジタルコンテンツ等を制作
- ・歴博ストーリーづくり委員会の検討に基づき、わかりやすい展示解説を多言語で整備



◆ 周遊観光の促進

- ・歴博と上野三碑を結ぶ周遊バスの運行等

◆ その他の事業 (518千円)

温泉文化のユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運を醸成するため、温泉文化の意義やストーリーを官民でともに考えるシンポジウムを実施。

背景・事業概要

○世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」等の継承

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめ、県内に数多く存在する絹遺産について、人類全体の財産として守り伝えていくべき「世界遺産」と「日本遺産」、「ぐんま絹遺産」のネットワーク化を推進し、一体的な保存と活用に向けた取組を目指します。

○世界遺産センター運営

群馬県立世界遺産センター（愛称：「世界を変える生糸（いと）の力」研究所、略称：セカイト）を運営し、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値や魅力を分かりやすく紹介するとともに、世界遺産のみならず日本遺産やぐんま絹遺産も併せて総合的に情報発信します。

具体的な取組

【予算額 167,761千円】

●世界遺産継承推進

〔予算額 120,405千円〕

◆世界遺産保存整備 (101,678千円)

関係市町が行う世界遺産構成4資産の保存修理事業に対して補助を行う。
（国庫補助残額の1/2）



◆世界遺産推進 (6,585千円)

世界遺産に係る専門的な指導助言を得る専門委員会の開催、包括的保存管理計画改訂準備（活用計画を含む）、WEBアンケート、企業等からの寄附金の基金への積立等を行う。

◆ぐんま絹遺産推進 (11,005千円)

絹文化の継承のため、ぐんま絹遺産の保存活用等に資する事業への支援、日本遺産「かかあ天下－ぐんまの絹物語－」の普及啓発イベント・動画制作・モニターツアー・WEBアンケート、調査研究助成事業「絹ラボ」等を行う。

◆ユネスコ対応 (1,137千円)

ユネスコへの報告（高山社跡保存整備）及び遺産影響評価マニュアルの検討・作成を行う。

●世界遺産センター運営

〔予算額 47,356千円〕

◆センター管理運営 (37,215千円)

・会計年度任用職員の雇用、施設管理等を行う。

◆普及活動 (4,779千円)

・トピックス展示（富岡製糸場150周年連携展示等）、来場者向けパンフレットの作成、スマートフォン用周遊アプリ「きぬめぐり」の運用等を行う。

◆学校教育連携推進 (1,613千円)

・学校向け資料の作成、オンライン授業、小・中学校を対象とした学校キャラバン（出前講座）の実施委託等を行う。

◆調査研究 (3,749千円)

・セカイト講演会の開催、アーカイブ事業をはじめとする調査研究を実施する。



6 教育文化事業団の機能強化

背景・事業概要

- ・文化芸術行政の推進においては、高い専門性と中立性を備えた第三者組織の設置が求められています。
- ・文化芸術振興の担い手である教育文化事業団を、文化芸術分野の専門家集団として体制を強化し、地域分散型文化事業の活性化や、文化活動の支援、県内各地における上質な文化芸術の鑑賞・体験機会の提供等を推進します。
- ・教育文化事業団が持つノウハウやネットワークを活かし、文化団体のコンシェルジュとなることを目指します。

具体的な取り組み

【予算額153,703千円】

◆新たな文化の育成

＜サブカルチャーやメディア芸術の振興＞

- ・GUNMAマンガ・アニメフェスタの応募資格を群馬県内から全国に拡大し、応募作品の質の向上を目指します。
- ・tsukurun-GUNMA CREATIVE FACTORYを活用してワークショップを実施し、始動人の育成を目指します。



第9回GUNMAマンガ・アニメフェスタ大賞(イラスト・中学生部門)



tsukurun-GUNMA CREATIVE FACTORY



◆アーティストックGUNMA

＜アーティスト支援とアート教育＞

アーティスト支援として、AIRでの滞在支援を行うとともに、その作品を活用したワークショップを行います。

◆コミュニティにおける文化活動の活性化

＜バックアップセンター＞

・高校文化部活動の応援事業や、アーティストと文化施設のマッチングなど、文化活動を行う人を支援します。

◆県民の文化芸術活動の振興

＜伝統文化の保存継承と後継者の育成＞

伝統文化を残すためのアーカイブの作成を行ったり、新たな担い手の育成のためのワークショップを行います。

◆伝統文化保存継承

＜伝統文化の保存継承と後継者の育成＞

伝統文化を残すためのアーカイブの作成を行ったり、新たな担い手の育成のためのワークショップを行います。

7 県立文化施設の整備

現状・課題

県立文化施設〔美術館（2館）・博物館（3館）・文化ホール（2館）〕は老朽化が進行しており、安全で適切な維持管理及び施設の長寿命化を図るための整備が必要となっています。

〔近代美術館〕

- R3.12～R4.6まで空調設備及び特定天井の第1期改修工事を実施。
R5に第Ⅱ期工事を予定。

〔自然史博物館〕

- 常設展示室屋根改修工事の設計を実施済み。R4以降に改修工事を実施予定。

〔群馬県民会館〕

- 建物・設備の老朽化が著しく進行し、設備・機器の故障や雨漏り、漏水等が発生。
- 耐震性について一部満たしていない部分はあるものの、継続使用しても概ね問題がないとの判断あり。
- 施設の管理運営上必要な修繕は実施するが、県有施設のあり方見直し最終報告に基づき、大規模改修は行わない方針。

施設名	開館	経過年数	耐震補強	特定天井	これまでの大規模な改修等	
近代美術館	S49.10.17	47	-	該当	H18～19 R3～4	建物・設備改修 空調・特定天井改修(1期)
館林美術館	H13.10.26	20	-	-	R元	設備改修（E S C O）
歴史博物館	S54.10.21	42	-	-	H26～28	建物・設備改修
自然史博物館	H8.10.22	25	-	該当	H25	設備改修（E S C O）
かぶらホール					-	-
土屋文明文学館	H8.7.11	25	-	-	-	-
群馬県民会館	S46.10.29	50	要	該当	H11～12	機械・電気設備更新、増築等
					H18	アスベスト除去

具体的な取組

美術館・博物館

- 〔歴史博物館〕
○常設展示室結露対策（予算額1,260千円）
- 〔自然史博物館〕
○二酸化炭素消化剤貯蔵容器交換（R3繰越14,850千円）
- 〔土屋文明記念文学館〕
○書庫電動棚基板交換（予算額6,051千円）

文化ホール

- 〔群馬県民会館（ベイシアホール）〕
○舞台設備等修繕
（予算額33,415千円）
- インバーター交換
（R3繰越2,805千円）



※施設の長寿命化は財産有効活用課、緊急的な設備等修繕は地域創生課の各予算でも対応します。

8 文化施設の運営(1)

背景・事業概要

県では、県民の皆様に優れた本県の芸術や文化の鑑賞の機会を提供するため、8つ※の文化施設を運営しています。

※世界遺産センター(セカイト)は別途記載

令和2年度の美術館・博物館の入館者数 230,601人(目標54万人) 【参考】令和3年度(2月末現在) 285,092人

具体的な取組

美術館・博物館では、引き続き効率的な管理・運営に努めるほか、魅力的な企画展示等の実施、教育普及事業の充実を図ります。

近代美術館

(予算額216,320千円)

本県における中核の美術展示施設として、本県ゆかりの作品を含む日本と西洋の近現代美術、中国と日本の古美術からなる戸方庵井上コレクションの展示等を行います。

- (企画展示) 7/9～8/28 うるわしき薔薇 ―ルドゥーテ「薔薇図譜」を中心に
9/17～11/13 理想の書物 ―英国19世紀挿絵本からプライベートプレスの世界へ
1/21～4/9 アートのための場所づくり ―1970年代から90年代の群馬におけるアートスペース

※特定天井及び空調改修工事により7/1まで休館



館林美術館

(予算額178,967千円)

「自然と人間」をテーマに、地域に根ざした美術館として、所蔵する国内外のコレクション等の展示を行うほか、地域と連携した様々な教育普及事業にも取り組みます。

- (企画展示) 4/23～6/26 ものがたりの予感
7/16～9/19 生誕110年 ―傑作誕生・佐藤忠良
10/8～12/25 かこさとしの世界 だるまちゃんもからすのパンやさんも大集合!
1/28～4/2 山中現展



歴史博物館

(予算額208,445千円)

東国文化や上野三碑をはじめとして、原始から現在にいたる群馬の歴史・文化を、実物資料を中心にジオラマやレプリカなども多数展示し、子どもたちにも分かりやすく解説します。

- (企画展示等) 4/16～6/5 高崎藩のお殿様 ―大河内松平家の至宝
7/9～8/28 戦国上州の刀剣と甲冑
10/8～11/27 上野三碑の時代(仮)
12/17～2/12 日本の凧(仮) ―併催 昭和の暮らし

※文化財保護法に基づく公開承認施設の令和4年度再承認に向けて必要な準備・調整を行う



9 文化施設の運営(2)

具体的な取組

自然史博物館

(予算額361,392千円)

地球の生き立ちから生命の進化の歴史、本県の自然の現状と変遷などの展示を通して、太古のロマンを存分に伝え、自然と環境に対する理解を育みます。

- (企画展示) 3/19~5/15 魅惑のスパイス&ハーブ
- 7/9~11/20 宇宙への挑戦ⅠⅡ
- 1/21~2/12 ぐんまの自然の「いま」を伝える
- 3/18~5/28 毒のある生きもの大図鑑



土屋文明記念文学館

(予算額68,410千円)

歌人土屋文明の業績を記念して、その生涯と作品を紹介するほか、短歌や本県ゆかりの文学資料等を収集・展示し、文学を感じ、親しむ機会を提供します。

- (企画展示) 4/16~6/12 落語と文学
- 7/16~9/19 ようこそ絵本の世界へ
- 10/8~12/18 萩原朔太郎大全2022
- 1/21~3/21 文学者の愛用品展



文化ホール

(群馬県民会館、自然史博物館附帯ホール)

(予算額101,853千円)

優れた文化芸術を創造、交流、発信する文化ホールとして、指定管理者制度による施設の管理運営を行います。

群馬県民会館(ベイシア文化ホール)※

指定管理者(公財)前橋市まちづくり公社

指定期間:令和4~6年度【1年目】

自然史博物館附帯ホール(かぶら文化ホール)

指定管理者:富岡市

指定期間:令和2~6年度【3年目】

文化施設5館の入館者数(令和2年度)

	近美	館美	歴博	自然史	文学館	計
R2	20,878	37,305	58,858	105,397	8,193	230,631
指針目標	100,000	55,000	100,000	250,000	35,000	540,000
達成度	20.9%	67.8%	58.9%	42.2%	23.4%	42.7%

※県有施設のあり方見直し最終報告(R3.10)

県民会館大ホールは地域にとって一定の利用が見込まれるため、前橋市と連携して当面の間その機能を存続させる。

- (1) 市内類似施設との機能重複を避け、一体的な管理運営を行うことで経費圧縮
- (2) 指定管理期間は3年間、新たな運営方法について県市連携して評価を行う

背景・事業概要

- 失われつつある地域の伝統や文化を継承（復活）している、意欲ある団体への支援を行います。
- 具体的には、県内各地に伝わる伝統芸能や祭りなどを継承するための取り組みを、補助事業や委託事業により支援します。

具体的な取り組み

【予算額12,787千円】

1 「群馬のふるさと伝統文化」支援事業（予算額8,104千円）※補助率2/3以内

補助メニュー	対象事業	上限額	件数(枠)
伝統文化映像記録	地域伝統文化を映像に記録	200千円	8件
伝承者養成	伝承者(後継者)の養成	200千円	8件
伝統文化継承活動	道具や衣装の整備等	200千円	8件
こども伝統文化継承	こども教室等での体験・習得	200千円	8件
伝統文化サポーター	継承を支えるサポート活動	200千円	8件



獅子舞用衣装の購入(伝統文化継承活動)



祇園囃子の練習会(こども伝統文化継承)

2 伝統文化継承事業委託（予算額4,683千円）

(公財)群馬県教育文化事業団に委託し、専門知識や人脈を活かした、伝統文化継承に関する具体的支援を実施します。

- ①ぐんまの地域文化マップ運営、 ②伝統文化継承モデル事業（伝統芸能字幕付公演等）の実施

11 文化づくり支援事業

背景・事業概要

- 「群馬の文化」形成に資する、地域での多様で創造性豊かな活動を支援します。
- NPO法人、民間団体（実行委員会形式等含む）が行う文化活動への補助を実施します。
- 第三者機関による補助事業の事前・事後評価を行います。

具体的な取り組み

【予算額 8,266千円】

1 「群馬の文化」支援事業(予算額 8,044千円)※補助率1/2以内

補助メニュー	内容	対象団体	上限額	件数(枠)
文化力向上事業	群馬の文化を元気にする新たな取組等を支援	NPO法人 民間団体(実行委員会形式等含む)	50万円	8件
次世代育成事業	次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れる取組を支援	NPO法人 民間団体(実行委員会形式等含む)	20万円	5件
文化資産発掘・活用事業	地域の文化資産を活かした地域振興につながる事業を支援	市町村が構成員となっている実行委員会等の団体	100万円	3件



榛名湖・湖上オペラプレ公演(文化力向上事業)



ロマン派音楽研究会ROMUVE演奏会
(文化力向上事業)

2 文化づくり支援事業・魅せる群馬の文化応援事業評価委員会(予算額 222千円) 第三者機関による補助事業に対する事前・事後の評価を実施します。